

「クリーンプラザ・龍」より令和 7 年度の可燃ごみの処理状況及び排ガスの測定結果をお知らせします。

可燃ごみの処理状況について(表 1)

龍ヶ崎市・利根町・河内町から排出された可燃ごみの焼却量は、令和 7 年度は 32,354t で、令和 6 年度の 32,642t と比較して 288t 減少しています。また、令和 7 年度は設備の故障により、焼却灰及び飛灰 416t を外部搬出したこともあり、最終処分場への埋立量は、令和 7 年度は 2,359 m³ で、令和 6 年度の 2,740 m³ と比較すると 381 m³ 減少しています。

引き続き、ごみの減量にご協力お願い致します。

排ガスの測定結果について(表 2)

ごみ焼却施設における排ガス中の有害物質の測定を、令和 7 年度中に 4 回(ダイオキシン類は 2 回)実施しました。

測定結果については、いずれの項目においても国の排出基準を大きく下回っていました。今後とも「クリーンプラザ・龍」は、周辺住民の皆さま方に安心していただけるように、公害防止対策に万全を期するとともに、公害自動監視盤で有害物質測定値を常時表示するなど、開かれた施設として運転管理を行います。

表 1 可燃ごみ処理状況

項目	単位	令和 6 年度	令和 7 年度
可燃物焼却量	t	32,642	32,354
焼却灰・飛灰の溶融処理量	t	2,481	2,099
灰の外部搬出量(焼却灰・飛灰)	t	-	416
埋立量(スラグ・ダスト固化物・不燃残渣・土)	m ³	2,740	2,359
埋立累計量	m ³	90,859	93,218
埋立残余容量	m ³	27,541	25,182

※最終処分場の埋立容量は 118,400 m³ です。

※令和 6 年度に実施した最終処分場の測量結果に基づき一部の数値については見直しをしています。

表 2 排ガス測定結果(4 回の平均値)

項目	単位	国の排出基準	令和 6 年度	令和 7 年度
ばいじん量	g / m ³ N	0.15 以下	0.002	0.002
硫黄酸化物	ppm	3,220 以下	3	4
塩化水素	ppm	430 以下	17	22
窒素酸化物	ppm	250 以下	28	23
一酸化炭素	ppm	100 以下	5	5
ダイオキシン類	ng-TEQ / m ³ N	5 以下	0.0004	0.0023

※測定値が定量下限値未満の場合は、定量下限値を測定値とみなして平均値を算出しています。

※ダイオキシン類の測定結果は 2 回の平均値です。

N(ノルマル):0℃、1 気圧に換算した時の値

ppm(パート パー ミリオン):100 万分の 1 を表す割合の単位

ng(ナノグラム):10 億分の 1 グラム

TEQ(ティー イー キュー):ダイオキシン類全体に含まれる毒性の強さを表す単位(「毒性等量」という)